

平成30年度

笠間市大池田財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書

笠間市監査委員

笠 監 第 6 号
令和元年8月21日

笠間市長 山口 伸樹 様

笠間市監査委員 仙波 操

笠間市監査委員 須藤 幹夫

笠間市監査委員 市村 博之

平成30年度笠間市大池田財産区特別会計歳入歳出決算審査意見
書について

地方自治法第233条第2項の規定に基づき、審査に付された平成30年度笠間市大池田財産区特別会計歳入歳出決算及び証書類、その他政令で定められた書類を審査したので、その結果について、次のとおり意見書を提出します。

目 次

第 1 審査内容及び結果	7
1 審査の対象	7
2 審査の期間	7
3 審査の方法	7
4 審査の結果	7
第 2 決算の概要	8
1 決算収支	8
2 歳 入	9
3 歳 出	10
第 3 財産に関する調書	11
1 公有財産	11
2 基 金	11
第 4 むすび	12

- 1 文中及び本文各表中の金額は、原則として、各係数ごとに千円単位(千円未満は四捨五入)で表示している。
- 2 文中及び本文各表中の比率等用法は、次のとおりである。
 - (1) 比率(%)・・・ 原則小数点以下第2位を四捨五入している。
 - (2) 「0.0」・・・ 該当数値はあるが、0.05%未満のもの。
 - (3) 「0」・・・ 該当数値はあるが、0.5千円未満なもの。
 - (4) 「-」・・・ 該当数値なし又は算出不能なもの。
 - (5) 「激増」・・・ 100%を超えて増加したもの。
 - (6) 「激減」・・・ 100%を超えて減少したもの。
- 3 上記のように処理をした結果、文中及び各表の数値とその内容の累計値とが一致しない場合や、他部局等作成の資料の数値と一致しない場合もある。

第 1 審査内容及び結果

1 審査の対象

平成 30 年度笠間市大池田財産区特別会計歳入歳出決算書
平成 30 年度笠間市大池田財産区特別会計歳入歳出決算事項別明細書
実質収支に関する調書
財産に関する調書

2 審査の期間

令和元年 7 月 12 日から令和元年 8 月 20 日まで

3 審査の方法

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により，市長から審査に付された平成 30 年度笠間市大池田財産区特別会計歳入歳出決算書及び事項別明細書，実質収支に関する調書，財産に関する調書及び関係書類を審査した。

4 審査の結果

審査に付された決算書及び附属書類は，いずれも関係法令等に準拠して作成されており，計数は正確で予算の執行及び財政運営も概ね適正であると認められた。

第2 決算の概要

1 決算収支

決算収支状況は次表のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	平成30年度	平成29年度	前年度比較	
			増 減 額	増 減 率
歳 入 総 額 A	9,938	10,625	△687	△6.2
歳 出 総 額 B	7,648	7,989	△341	△4.3
形 式 収 支 (A - B) C	2,290	2,636	△346	△13.1
翌年度へ繰越すべき財源 D	—	—	—	—
実 質 収 支 (C - D)	ア 2,290	イ 2,636	△346	△13.1
単年度収支(ア-イ) E	△346	540	△887	激減
積 立 金 F	—	684	△684	皆減
積立金取崩額 G	—	—	—	—
実質単年度収支(E+F-G)	△346	1,224	△1,571	激減

平成30年度の決算額は、歳入総額は993万8千円、前年度と比較すると68万7千円(6.2%)の減少、歳出総額は764万8千円、34万1千円(4.3%)のそれぞれ減少となり、歳入歳出差引き後の形式収支は、229万円となっている。

また翌年度へ繰越すべき財源は無いため、形式収支が実質収支となるが、平成30年度実質収支から前年度実質収支263万6千円を差引いた単年度収支は34万6千円の赤字となっている。

2 歳入

(1) 歳入の概況

(単位：千円・%)

区 分	平成30年度				平成29年度	前年度比較	
	予算現額	調定額	収入済額	収 入 率	決 算 額	増 減 額	増 減 率
歳入合計	9,892	9,938	9,938	100.5 (対予算) 100.0 (対調定)	10,625	△687	△6.5

(2) 科目別歳入状況

(単位：千円・%)

区 分	平成30年度		平成29年度		前年度比較	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
財 産 運 用 収 入	6,851	68.9	6,851	64.5	0	0
利子及び配当金	10	0.1	10	0.1	0	0.5
財 産 貸 付 収 入	6,841	68.8	6,841	64.4	—	—
財 産 売 払 収 入	—	—	—	—	—	—
不 動 産 売 払 収 入	—	—	—	—	—	—
繰 越 金	2,636	26.5	2,096	19.7	540	25.8
繰 越 金	2,636	26.5	2,096	19.7	540	25.8
雑 入	450	4.5	1,678	15.8	△1,228	△73.2
雑 入	450	4.5	1,678	15.8	△1,228	△73.2
繰 入 金	—	—	—	—	—	—
財 政 調 整 基 金 繰 入 金	—	—	—	—	—	—
合 計	9,938	100.0	10,625	100.0	△687	△6.5

収入済額は993万8千円で、前年度に比べ68万7千円(6.5%)の減少となっている。
これは主に、雑入122万8千円(73.2%)の減少によるものである。

3 歳 出

(1) 歳出の概況

(単位：千円・%)

区 分	平成30年度				平成29年度 決 算 額	前年度比較	
	予算現額	支出済額	不用額	執行率		増減額	増減率
歳出合計	9,892	7,648	2,244	77.3	7,989	△341	△4.3

(2) 科目別歳出状況

(単位：千円・%)

区 分	平成30年度				平成29年度 決 算 額	前年度比較	
	予算現額	支出済額	不用額	執行率		増減額	比 率
議 会 費	1,040	901	139	86.7	680	221	32.4
議 会 費	1,040	901	139	86.7	680	221	32.4
総務管理費	8,412	6,747	1,665	80.2	7,309	△562	△7.7
一般管理費	160	38	122	23.8	22	16	75.4
財産管理費	4,634	4,433	201	95.7	5,350	△918	△17.2
諸 費	3,618	2,276	1,342	62.9	1,936	340	17.5
選 挙 費	—	—	—	—	—	—	—
大池田財産区 議員選挙費	—	—	—	—	—	—	—
予 備 費	440	—	440	—	—	—	—
予 備 費	440	—	440	—	—	—	—
合 計	9,892	7,648	2,244	77.3	7,989	△341	△4.3

支出済額は764万8千円で、前年度に比べ34万1千円(4.3%)の減少となっている。
 主な要因は、総務管理費(財産管理費)91万8千円(17.2%)の減少によるものである。

第3 財産に関する調書

1 公有財産

(1) 土地及び建物

[土地]

(単位: m²)

区 分	前年度末現在高	本年度中増加高	本年度中減少高	本年度末現在高
山 林	447,601	—	—	447,601
そ の 他	108,591	—	—	108,591
合 計	556,192	—	—	556,192

[建物]

(単位: m²)

区 分	前年度末現在高	本年度中増加高	本年度中減少高	本年度末現在高
木 造	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—
合 計	—	—	—	—

(2) 山林

(単位: m²・m³)

区 分		前年度末現在高	本年度中増加高	本年度中減少高	本年度末現在高
所 有	面 積	447,601	—	—	447,601
	立木の推定蓄積量	4,619	64	—	4,683
分 収	面 積	—	—	—	—
	立木の推定蓄積量	—	—	—	—
その他の権原 によるもの	面 積	—	—	—	—
	立木の推定蓄積量	—	—	—	—
合 計	面 積	447,601	—	—	447,601
	立木の推定蓄積量	4,619	64	—	4,683

2 基金

(単位: 千円)

名 称	前年度末現在高	本年度中増加高	本年度中減少高	本年度末現在高
財政調整基金	113,751	—	—	113,751

基金の状況は、本年度末現在高として1億1,375万1千円となっている。

第4 むすび

以上が、平成30年度笠間市大池田財産区特別会計決算の概要と審査の結果であり、意見については次のとおりである。

平成30年度の決算総額は、歳入が993万8千円、歳出が764万8千円で、前年度に比べ歳入は68万7千円(6.5%)、歳出は34万1千円(4.3%)とそれぞれ減少となっている。

本年度の決算及びその執行内容は、合理的、効率的な執行がなされていると認められた。

なお、大池田財産区の今後のあり方については、構成員の高齢化の進展や山林資源の伐採適期と効果的な維持管理の状況などを十分考慮しながら、検討していくべき時期を迎えていると考えられる。